

平成15年度鏡石町各会計当初予算 (単位：千円)

会計区分	平成15年度	平成14年度	増減率	
一般会計	4,140,000	4,423,000	6.4%	
国民健康保険特別会計	1,186,844	1,048,807	13.2%	
老人保健特別会計	1,142,050	1,151,352	0.8%	
介護保険特別会計	411,227	431,037	4.6%	
土地取得事業特別会計	58,808	59,500	1.2%	
工業団地事業特別会計	33,000	300,000	89.0%	
鏡石駅東第1土地画整理事業特別会計	72,000	57,500	25.2%	
公共下水道事業特別会計	634,000	679,000	6.6%	
農業集落排水事業特別会計	67,400	64,500	4.5%	
育英資金貸付費特別会計	12,242	13,385	8.5%	
小計	7,757,571	8,228,081	5.7%	
上水道事業会計	収益的	227,603	236,000	3.6%
	資本的	121,481	175,812	30.9%
	計	349,084	411,812	15.2%
総計	8,106,655	8,639,893	6.2%	

(はマイナス)

町の予算のしくみ

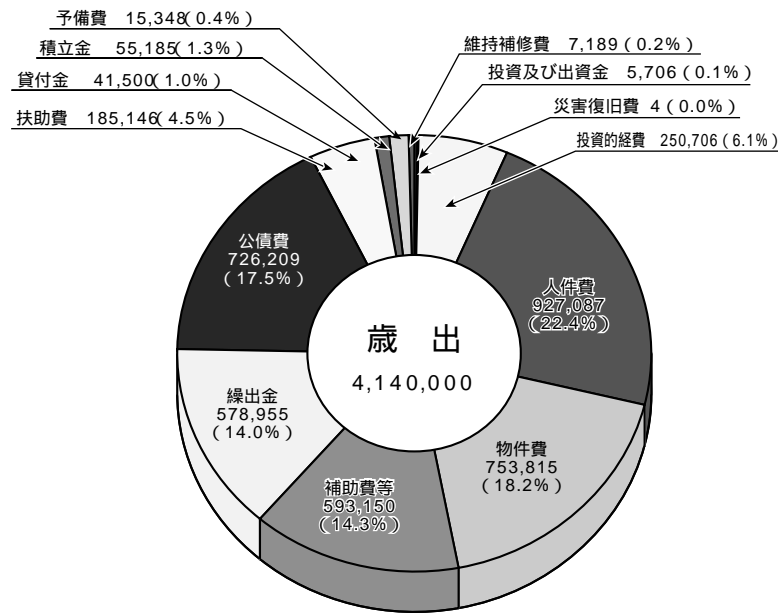
町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。一般会計は、町行政運営の根幹をなす会計で、福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかっています。特別会計は、特定の事業について一般会計とは切り離し、独立した経理で行う予算で、町では、老人保健特別会計や国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計など9つの特別会計がこれにあたります。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、上水道事業会計が企業会計となります。

一般会計の予算総額は4億4千万円

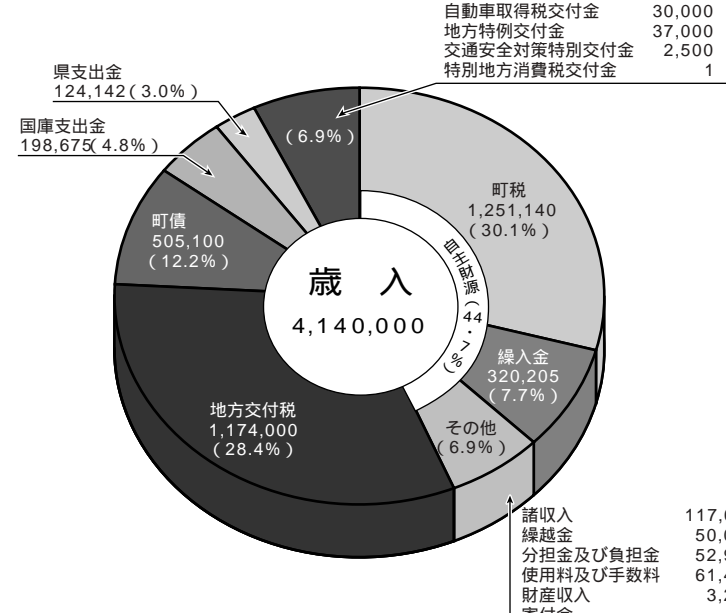
平成15年度鏡石町各会計の当初予算と一般会計歳入歳出予算の内訳は、上の表と円グラフのようになっています。一般会計は、四十一億四千万円対前年比六・四％減の二億八千三百万円が減額となり、三年ぶりに前年を下回る予算になっています。予算減額の主な内容は、義務的経費(人件・物件・維持補修・補助費等)の節減と投資的経費(補助・単独事業費)の縮小によるものです。

歳入では、町民のみならず納める町税が歳入総額の三十一・一％を占め、次いで国から交付される地方交付税が二十八・四％となっております。歳入を占める自主財源の割合は四十四・七％になります。歳出では、法改正と知的障害者事務委譲により、措置制度「から」支援費制度へ移行され、福祉サービスの向上を図るため、民生費が最も多く十五・九％の六億五千六百七十一万となります。

平成15年度一般会計 当初予算内訳(単位：千円)



平成15年度一般会計 当初予算内訳(単位：千円)



町長の説明(要旨)

改革への期待を抱いて幕をあげた二十一世紀も、二十世



ソフト事業としては、昨大きな盛り上がりを見せた「牧場の朝YOSAKOI祭り」の支援、人材育成と国際化に向けた海外文化学習事業や幼稚園・保育所における延長保育の子育て支援、やすらぎとつながるおいのある町づくりのために「フローラのまちづくり」などの継続事業をはじめ、新規事業として鏡石幼稚園の園庭緑化推進事業や社会体育団体支援事業に取

り組む予定であります。介護保険事業においては、充実した介護や保健福祉サービスの提供ができるよう、高齢者保健福祉計画と介護保険事業の見直しを行い、町民が安心して暮らせる地域づくりとして老人福祉、医療サービスの充実に努めます。厳しい雇用情勢を踏まえ、雇用・就業機会の創出を図る緊急雇用対策事業は、鏡石駅周辺の犯罪防止及び環境整備

紀のさまざまな課題が未解決のまま三年目に入りました。失業率も五％台に高止まりしたまま、失業者は三百六十万人を超え戦後最悪の水準となっております。県内の各企業も新規採用を控え、厳しいストラの実施などからくる高水準の失業者や金融機関での貸し渋りなどによる連鎖倒産も発生しており、悪化がさらに加速されると思われま。

新年度予算の編成にあたりましては、二年目となる第四次総合計画の基本理念である「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」「元気づくり」「活力づくり」「人づくり」「地域づくり」の五つの柱を基軸に、各種事業の推進に向けて前年より六・

四％の減額予算となりました。歳入については、将来の財政負担を考慮し、適正な起債枠を確保しながら、基金の取り崩しなどの措置を講じることにより財源を確保したところであります。歳出については、行財政改革を推進しながら中期財政計画に合わせ徹底した事務事業の見直し、また各種事業を厳選し、第四次総合計画の確実かつ着実な推進を図るべく諸事業に配慮したところであります。

主な事業については、南部第1工業団地への企業誘致をはじめ、駅東第一土地画整理事業や上水道第四次拡張事業、公共下水道事業、緊急地方道整備事業など町の将来を見据えた基盤づくりを着実に進めて行く予定であります。

人づくり
快適空間づくり
元気づくり

なごみ5つの柱を基本に活力あるまちづくりを推進

平成15年度予算総額8億665万円

三月鏡石町議会定例会は、三月五日(水)から十四日(金)までの十日間の日程で開催され、平成15年度鏡石町一般会計予算など三十七議案が原案通り可決されました。平成15年度の当初予算総額は、八十一億六千五百五十万五千円以前年に比べ六・二％の減額となっております。今年度も健全財政を基本に「つながるおい」と「やすらぎ」のあるまちづくりを進めていきます。ここでは、平成15年度当初予算についてお知らせします。